

北海道網走西部流域

森林認証を活用したプロモーション戦略

重点プロジェクト① 付加価値を高めた製材・製品の販売促進

森林認証材が持つ環境価値により、製材・製品の付加価値を向上させ、首都圏等での販売促進を目指す。

【現状と課題】

- ・ 当地域では、平成18年度から地域の林業関係者が連携し、森林認証の取得拡大に取り組み、令和4年3月現在で約33万ヘクタールを超える全国一の認証林エリアを形成。
- ・ COC認証の取得企業は44社まで拡大し、森林認証材の供給体制の整備は進む一方で、安定した需要が少ないため、大消費地である首都圏等での需要促進が課題。



図1 首都圏での建材市への出展

【取組概要】

- ・ 取組の検討には産学官をメンバーとする協議会を開催し実施。
- ・ 当地域の認証材製品を首都圏等での展示会に出展。(図1)
- ・ 森林認証の取組に係るPR動画を作成しWeb等で公開。(図2)
- ・ 「森林認証×SDGs」をテーマとして、地域の建築、設計事業者を対象とした森林認証材利用促進セミナーを開催。(図3)



図2 PR動画「森林認証への思い」

【取組の成果・効果】

- ・ 首都圏での展示会出展により首都圏の企業等とのつながりや森林認証に係るニーズの把握ができた。
- ・ 森林認証PR動画作成によりWebを活用したPRが可能となった。
- ・ 地域の水産加工会社が開発した製品(カマボコ)の化粧箱に、認証材加工事業者の製品を紹介し、商品化されるとともに、継続的な利用が行われている。(図4)
※製品は第32回全国水産加工品総合品質審査会に応募し、全国水産加工業協同組合連合会会長賞を受賞



図3 森林認証セミナー用ポスター

【取組が進んだ要因】

- ・ 本事業を活用した首都圏展示会への出展やPR動画製作などの普及PRを実施したことにより、企業との関係構築が図られた。
- ・ 地域の産学官が情報共有し、連携体制が構築されていることで、利用者が求める認証材製品を加工可能な事業者を紹介できた。

【これから取り組む地域へのアドバイス】

- ・ 森林認証取得及び拡大に取り組むためには、地域の産学官が森林認証制度に関する知識や情報を共有するとともに、連携体制を構築するために、より具体的な目的・目標を定めることが必要と考える。



図4 認証材を活用した化粧箱

担当者:連絡先
紋別市役所産業部農政林務課
林業振興担当 中村 雅俊
メール: ringyoushinko@city.mombetsu.lg.jp
電話: 0158-24-2111